

# 長野県言語聴覚士会ニュースレター

Vol.15 No.2 2017年7月

—今回同封の郵送物です。ご確認ください。—

## <各会員宛>

- 1.本ニュースレター
- 2.会報
- 3.会員名簿（各施設1部）

## ニュースレター目次

- ・第18回県士会総会・講演会・地区懇話会のご報告
- ・平成29年度 都道府県士会会長会議 参加報告
- ・2017年度 学校教育連携担当者連絡協議会 参加報告
- ・平成29年度 長野県言語障害児者数調査 実施のお願い
- ・『非日本語話者のSTニーズ調査』依頼について
- ・PT・OT・ST 合同職業説明会ご報告
- ・H29年度 コミュニケーション障害研究会 症例検討募集のお知らせ
- ・国際統合リハビリテーション協会からのお知らせ
- ・会員情報管理からのお知らせ
- ・財務担当より 年会費について
- ・広報部よりお知らせ

## 第18回県士会総会・講演会・地区懇話会のご報告

事務局長 藤森美恵

**【総会のご報告】**平成29年5月28日に、第18回長野県言語聴覚士会総会が開催されました。会員数350名中、出席者数101名、委任状数181名で、定足数を満たし、成立しました。

下記の議案は、すべて賛成多数で承認されました。

第一号議案：平成28年度活動報告

第二号議案：平成28年度会計報告

第三号議案：平成29年度役員の承認

第四号議案：平成29年度活動方針・活動計画

第五号議案：平成29年度予算

第六号議案：賛助会員規定制定について・細則の改正

**【講演会および地区懇話会ご報告】**総会に先立って講演会と地区懇話会を開催しました。

講演会では昨年度、数年振りに当県に戻ってこられた長谷川和子先生に、明日の臨床に役立ち、かつ、自身のスキルを見直すきっかけとなるお宝満載のご講演で皆さん、真剣にメモを取っていました。

また昨年度に引き続き、今年も昼食時間を利用して地区懇話会を開催しました。多くの皆さんが参加され、各地区、充実した場になったようです。

**【新入会員】**今年度、新たに 29 名の方が入会されました。歓迎会を兼ねた懇親会にも多くの新入会員

の方が参加してくださいました。フレッシュな顔ぶれは、改めて会報にてご紹介します

## 平成 29 年度 都道府県士会会長会議 参加報告

2017 年 6 月 22 日(木) 13:10~15:10

松江市・くにびきメッセ/501 大会議室

深 浦

### ◆ 開会あいさつ

順一 会長

現在、当協会は、平成 30 年度、診療報酬、介護報酬の同時改定に向けて、具体的な提案項目を絞り込むために、理学療法士協会、作業療法士協会と共同で、課題の洗い直しをしている。

また、失語症者意思疎通支援者養成研修会を実施する講師を養成するために、今秋 10 月 21 日・22 日に講師の養成研修を開くべく、調整・準備を進めているところである。

三協会共同で行う地域リハビリテーション支援事業の方も進みつつあり、DVDビデオの撮影が終わり、編集を進めている段階である。

生涯学習事業へのご協力も、引き続きお願いしたい。認定言語聴覚士のための受講体制も整いつつあるが、言語発達障害、聴覚障害は対象者が少ない実情があり、力を入れていかなければならないところである。

養成校のことについても、指定規則の改訂に関する案について、三協会連携しコンセンサスを得ながら、進めているところである。

言語聴覚士の国家資格法制化から 20 年を経て、社会的な認知・評価を高めていくという面で、協会として、会員を受賞、叙勲などに推薦をすることも視野に入れている。

### ◆ 協会各部・委員会からの連絡

#### ➤ 医療保険部

概要調査協力施設件数は、全国で 479 施設となった。まだまだ、不足したり偏ったりしている部分もあるので、今後、更に多くの施設にご協力いただきたい。

#### ➤ 介護保険部

地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業について、ご協力をいただき、地域包括ケアで 292 件、介護予防で 289 件の修了書発行にこぎつけた。都道府県によるばらつきがあり、地域差があるので、今後、どの地域でも実施できるよう、引き続きご協力いただきたい。

また、会長のあいさつでも触れていただいたように、研修用DVDビデオについては、撮影が終わり編集作業に入っている。初期研修のみは、DVDビデオで済ませていただいてよいと思うが、導入研修については、顔を合わせてディスカッションするなどして、深めていただく方がよいだろう。

初期研修の参加費について、当初は理学療法士協会の金額に合わせるというお願いをしたが、各都道府県士会にお任せすることに決まったので、各都道府県の実情に応じて、無料も含めて金額を決めていただいてよい。

➤ 障害福祉部

今回は、障害福祉領域に関する実態調査アンケートへのご協力をお願いしたい。先般、「発達障害者支援法」の改正、「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準」の一部改正があったことを受け、このアンケートを実施するので、ご協力をお願いしたい。

「発達障害者支援地域協議会」の構成員に、言語聴覚士が含まれているかどうか、その実態も調べたいと思っている。

アンケートは、協会事務所から各士会にメール配信するので、県士会で把握している範囲で記入し返信していただくという形で回収する。調査期間を2か月に延長して、可能な範囲でご回答いただく。

同アンケートについて、参会者から、法の改正について情報（資料）をいただきたいという意見、そもそも職場に定着していない実態があるので、在勤期間など把握する形にするべきとの意見が出された。

更に、都道府県によって、母数の大きさも様々で、把握の難しさに差があることに配慮してほしいという意見、個別のセンターについての情報を集めて何に利用するのかという質問が出された。

以上のように、同アンケートについて、質疑の中でやり取りがあったが、アンケートの主旨がはっきりしない、その内容なら、都道府県士会でなく、都道府県の担当課に問い合わせた方が、より正確な数字が把握できるなどの意見が出されたため、調査のしかたについては、理事会で練り直すことになった。

また、国土交通省作成のパンフレット、「知的障害、発達障害、精神障害のある方とのコミュニケーションハンドブック」（JDDnet等の協力による。PDFファイルがアップされている。）の紹介があった。

➤ 国際部

「非日本語話者のSTニーズ調査」への協力のお願いがあった。東京都あたりでは、相当数の紹介があるそうだが、長野県ではどうなのか。今回は、端緒として、今後、形をつくっていくとのこと。

➤ 広報部

言語聴覚の日のイベントの開催報告を、HPに掲載する計画がある。動画サイトの方にも掲載したいので、動画なら1分程度の長さにして提供していただきたい。イベント共催についても、多くの都道府県に手を挙げてもらいたい。

◆ その他

➤ 失語症意思疎通支援者養成研修講師の養成

本年度、厚生労働省の方針がはっきり出されなかったため、協会としても出遅れた形になっており、また、東京都のようにとても進んでいるところもあれば、そうでないところもあり、都道府県によって温度差がある実情だが、現在は、動向を見守りながら取り組んでいる状況。

◆ 閉会あいさつ

深 浦

順一 会長

ここ数年、都道府県士会会長会議と、その直前にある社員総会との棲み分けを、どうするかということが、課題になっていた。今日もいろいろなお意見をいただいたが、こちらの会議は、都道府県の実情についての情報交換に重点を置いて行っていきたい。また、今まで弱かった障

害者福祉について、言語聴覚士のかかわり方の実態を明らかにしていく必要があると感じている。特に、児童の放課後等デイサービスについては、様々な実態の一端が伝えられているので、今後も注視していきたい。

## 2017年度 学校教育連携担当者連絡協議会 参加報告

2016年6月22日(木) 15:20~16:20  
松江市・くにびきメッセ/601 大会議室

### ◆ 学校への言語聴覚士参画の現状について

- アンケートの結果から  
理事

岡 崎

学校教育現場への、言語聴覚士の配置と派遣の実態について、その一端が明らかになってきた。配置については、何時間以上・何日以上などの基準は設けていない。派遣については、県士会に要請があって、県士会から派遣する形を想定していた。

- 各都道府県の担当者から

学校に配置されている数少ない例でも、非常勤で安い賃金という待遇では、積極的に勧められる処遇ではない。制度改革など、抜本的な対策が必要と感ずる。(千葉県)

言語聴覚士の需要は多く、園や学校からの要請が多いが、学校の教員で言語聴覚士の人は、学校へと出ていけない状況があるので、病院の言語聴覚士が出ていっている状況がある。(神奈川県)

国のモデル事業が始まるのに合わせて、派遣に対応する言語聴覚士は、3名の体制で応じている。県から県士会に依頼が来て、県が言語聴覚士所属施設の上司に話を通して、出張で出ている。(山梨県)

### ◆ 学校教育対応マニュアル(仮称) 項目案

- 提案理由  
理事

岡 崎

何も拠り所がないという現状からの脱却のために、たたき台として項目案のみ示した。今後、ご意見をいただきながら検討を進めていきたい。

- 参会者から

心理士の方では、詳細なマニュアルを作っている。あれを見ると、言語聴覚士は紹介できないという意見が聞かれる。

作業療法士の方でも、発達障害児への対応ということで、学校から引きがあり、だいぶ職域を奪われている側面もある。

他職種の先行例などに学びながら、対応マニュアルの検討を進め、活用しながら成熟させていくことが求められている。

会議を終えて(雑感)

あくまでも、個人の感想です。

### ◆ 都道府県士会会長会議

- 障害者福祉(児童)のことが話題に

これまでは、医療・介護のことが中心であったが、初めて、福祉の話題に長時間を割いた。そこには、会長の意向が働いていたようだが、教育・福祉を通して、児童に光が当た

るきっかけとなればと思う。

◆ 学校教育連携担当者連絡協議会

➤ 学校教育対応マニュアル（仮称）の試案

この意欲的な試みを、学校教育連携で求められることの明確化とそのスキルアップを進めるために、新たな試金石となるかもしれないと期待している。

（文責：安川）

## 平成 29 年度 長野県言語障害児者数調査 実施のお願い

調査部

今年度の調査期間が迫ってきました。現在の ST の業務量や対象者像を把握する調査の第一歩となります。ご多忙とは存じますが、どうぞご協力をお願い致します。

目的

県内における ST が関わっている言語障害児者数の把握

1. 調査期間

平成 29 年 8 月 1 日～8 月 31 日

2. 対象

上記期間中に ST が関わった言語障害児者（摂食嚥下障害を含む）

※1 人の言語障害児者に対して 1 カウント。（摂食嚥下障害は重複可）

3. 集計・データ提出方法

県土会 HP より集計用紙をダウンロードし、調査部アドレスへ提出

5. 締め切り

平成 29 年 9 月末日

※なお、未提出の施設・会員様には調査部よりデータ提出のお願いをさせていただきます。

詳細に関しては別送の文書を参照ください。

※問い合わせ [slht.nagano.chosa@gmail.com](mailto:slht.nagano.chosa@gmail.com) 担当：寺島

## 非日本語話者の ST ニーズ調査』依頼について

調査部

この度、日本言語聴覚士協会国際部より、非日本語話者への ST の関わりについて調査依頼がありました。

・目的：

わが国で音声言語・聴覚などに困難を感じた外国人（非日本語話者）がどこに相談や依頼を持ち掛けているか、また言語聴覚士がどのようなサービスを提供しているのか、それらの現状を知ること

・調査方法／締め切り

協会からのアンケートに回答。各回答者が協会国際部担当者へデータ送信。

締め切り：29年9月末日

各病院・施設への案内を活用していただき、回答のご協力をよろしくお願い致します。  
また、アンケートのデータが必要な方は以下アドレスまでご一報ください。

長野県言語聴覚士会調査部：[slht.nagano.chosa@gmail.com](mailto:slht.nagano.chosa@gmail.com) 担当：寺島

## PT・OT・ST 合同職業説明会ご報告

事業部部長 神田秀樹

5月28日（日）に長野市もんぜんぷら座、6月11日（日）に松本駅前会館にて開催された長野県PT・OT・ST3士会合同の高校生対象の職業説明会に、参加をしてきました。長野市会場は倉石、松本市会場は栗林・神田で対応しました。

STブースへ訪れた高校生の人数は2会場で合計21名と盛況に行われました。訪れた高校生は「PTまたはOTの説明を聞く序で」という方もいましたが、「先生からSTを進められた」「インターネットや身内から情報を得てSTになりたい」といったST目当てに訪れた方が多かった印象です。

質問内容は、仕事内容、養成校での勉強、言語聴覚士としての資質等様々なものでした。また、同伴された保護者の方からは、今後の需要や養成校の情報について等の質問があげられました。

今回のような職業説明会や職場見学を通し、多くの方に言語聴覚士について知っていただくとともに、こういった会に参加した1人でも多くの高校生がSTという仕事に魅力を感じ、将来STとして活躍してくれることを願っています。



## H29年度 コミュニケーション障害研究会

### 症例検討募集のお知らせ

長野県言語聴覚士会 学  
術教育部

開催日時：H29年10月21日(土)  
会 場：諏訪湖ハイツ  
内容：午前 症例検討(成人領域、小児領域)  
午後 講演

今回は午後の症例検討の成人領域の症例発表をされる方を募集します。  
発表された方には生涯学習プログラム基礎講座修了要件のC)症例検討・発表の証明書が発行されます(ST協会会員の方)。事例報告される方のご応募をお待ちしております。申し込み期限8月31日

連絡先 [slht.nagano.gakukyo@gmail.com](mailto:slht.nagano.gakukyo@gmail.com) (学術部担当 小林、笠原)  
応募される方は、タイトルに、「事例検討応募」と記載してください。

## 国際統合リハビリテーション協会

日 時: 骨盤1:平成29年9月3日(日)9時30分~16時30分

骨盤2:平成29年9月30日(土)10時00分~16時00分

2日間開催

場 所: 9/3 昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 群馬県前橋市

9/30 ベイシア文化ホール(群馬県民会館) 群馬県前橋市

内 容: 骨盤は身体重心が位置するなど全身に影響を及ぼしやすく、立位・座位においても骨盤のアライメント変化1つで全身への影響も変化してきます。同研修会参加者からは「骨盤の調整を行うと、いままで20分かかっていたことが5分位ですむ」「仙腸関節と股関節の調整でOAによる膝の痛みが改善した」などの嬉しい実践報告が寄せられました。

当協会では、それぞれの研修会を2日間構成にて実施しておりますが、1日では消化しきれなかった部分や、実際に臨床にて実践した際に生じた疑問などを2日目の研修会にて全体で共有し解決していくことで参加された皆様の習得率を高め、さらに学びを深めていただけることを目的としております。

会 費: 32,184

申し込み: 必要

申し込み期間(期限):

問い合わせ・申し込み先: 参加申し込み方法: こちらのURLより

<https://1lejud.com/stepmail/kd.php?no=HSiEvwDpwA>

## ◇会員情報管理からのお願い

会員情報管理からのお願い・お知らせ

### ●各種届出について

入会・変更・休会等をご予定の方は、当該届出書の提出をお願い致します。各種届出書は、県士会ホームページよりダウンロードできます。

平成 29 年度となり担当者が交替した為、各種届の宛先（旧：あづみ総合病院 担当者：山田 → 新：城西病院 担当者：赤羽・高山）も変わりました。よって、各種届出書は新たに県士会ホームページよりダウンロードし使用してください。これまでの届出書を保管されていたら、破棄願います。

【ダウンロード先】

<https://www.slht-nagano.org/お問い合わせ等/各種届出等ダウンロード-m1紹介/>

### ●ニュースレター配送数について

新年度となり、職場移動等で会員所属状況に変動がありました。

今回発送のニュースレターで枚数過不足がありましたら、お手数ですが、事務局会までお知らせください。

【問い合わせ先】 slht.nagano.jimukyoku@gmail.com

## ☆ 会 員 動 向 (7月現在) ☆

※各種届の NL 掲載可と記載された会員の情報のみ掲載しています※

### <所属先変更>

井口昌一 さん

追加 ⇒ 特定非営利活動法人四季

障害児童通所支援事業所「にじいろポケット」

※南信地区：NPO 法人 CoCo は今後も勤務予定

中山美波さん 鹿教湯病院 ⇒ 鹿教湯三才山病院

宮原奈々絵さん プラムの里 ⇒ みぶの里 地域支援室

### <休会>

箱田聖奈さん 長野松代総合病院

### <退会>

林 晶子さん 健和会病院

(事務局会員情報管理担当)

## ◇財務担当より 年会費納入のお願い◇

総会にて平成 29 年度年会費をご納入いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。まだ納入されていない方は、口座振込での会費納入を何卒よろしくお願い致します。

なお、総会や過去の NL でお知らせしましたように、事務局財務担当交代に伴い、振込先の名義(担当者名)が変更となりました。今後は下記の名義にてお振り込み下さい。

年会費	①正会員 5,000 円 ②賛助会員 個人 3,000 円/団体 10,000 円 ③休会ニュースレター希望 1,000 円
振込先	八十二銀行 稲荷山支店 店番号 284 普通口座番号 283261 長野県言語聴覚士会 会計 吉川沙希子

## ◇広報部よりお知らせ◇

県士会ホームページは最新のトピックスを随時更新中ですので、是非ご活用ください。尚、会員向け情報ページのパスワードは「nagano」です。所属一覧などはそこから確認できます。会員の皆様ご承知ください。

## ☆求人のお知らせ☆

### JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院

募集職種 言語聴覚士

募集人員 若干名

応募資格 平成 30 年免許取得予定者または免許取得者

- 応募書類
1. 履歴書（履歴書：医療技術員）
  2. 卒業見込証明書（新卒の方）
  3. 成績証明書（養成学校のもの・既卒の方も提出）
  4. 言語聴覚士免許証の写し（既卒の方）

※お送りくださった応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

選考方法 筆記試験（専門試験）、小論文、面接

郵送先 〒388-8004 長野県長野市篠ノ井会 666-1 篠ノ井総合病院 人事課 宛

選考日 調整中につき、後日連絡、および篠ノ井総合病院 HP に掲載

待遇 休日：4 週 7 休制での交代制勤務

休暇：年末年始（5 日）、夏季休暇（4 日）

給与：JA 長野厚生連規定の給与体系に因る。経験年数への対応あり。

諸手当：複数あり

賞与：年 2 回

福利厚生：組合健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険

問合せ先 篠ノ井総合病院 人事課

電話：026-292-2261（代）

職場見学についてはリハビリテーション科 五十嵐まで

※詳細他につきましては、篠ノ井総合病院ホームページもご覧ください

## 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部

募 集 人 員 言語聴覚士 若干名

<病 院 概 要>

対象は、小児（乳児の摂食・嚥下障害、発達障害、構音障害など）～成人（失語症、構音障害、高次脳機能障害、摂食・嚥下障害）と幅広く、大学病院ならではの稀な疾患などを含め、様々な経験することが可能です。毎週、VE・VF も実施しております。学会活動および研修会への参加も積極的に行っております。

<待 遇>

非常勤職員（有期雇用職員：1年ごとに更新）

勤務時間：8時30分～17時15分 週5日、月1回土曜日出勤

給与、諸手当、賞与、休暇等については国立大学法人信州大学非常勤職員就業規則・給与規程に基づく

履歴書類提出期限 平成29年9月30日(土)

問い合わせ 〒390-8621

及び応募先 長野県松本市旭3-1-1

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 寺島さつき

TEL 0263-37-2836

見学は随時受け付けております。ご興味のある方はぜひ一度見学にお越しください



長野県言語聴覚士会 ニュースレター 2017年7月

発行：長野県言語聴覚士会広報部 NL 担当

〒393-0077 長野県諏訪郡下諏訪町矢木町 214

社会医療法人 南信勤労者医療協会 諏訪共立病院

TEL：0266-28-2012（代）FAX：0266-28-5241

E-mail：slht.nagano.koho@gmail.com

※次号は9月末です。掲載ご希望の情報などがありましたら、  
**平成29年9月15日**までに広報部 NL 担当にご連絡ください。